東近江市のいいとこ・いいこと・いいひとを紹介する広報紙

にじまち

VOL.19

2017.12 発行

特　集　年末年始をどう過ごす－東近江で過ごすお正月－

彩　歴史を通して次世代に伝えたいこと
～竜田を語る会～

東近江人　食べることは生きること－伝え続けるふるさとの味－
～山本貞子さん～

マチコト　「安心して食べてもらいたい」とこだわって作っています
～農事組合法人　滋賀第五営農組合～

特集

年末年始をどう過ごす ～東近江で過ごすお正月～

今回の特集は、年末年始をどう過ごす?と題して、お正月の過ごし仕方についてアンケートを行いました。年末年始に食べるものや飾るもの、遊び、そして特徴ある過ごし方をお聞きし、その中でも次の世代に残したい風習も合わせて答えいただきました。様々な回答があったのですが、みなさん感じられているのは、年末年始は、家族や大切な人と一緒に過ごすことを大切にしたいということ。食事や遊びは、みんなでワイワイ言いながら過ごせるものが多かったのが特徴的でした。

「初詣」は、ほとんどの方が参っておられ、次の世代にも残していきたい風習と答える方が多くおられました。

初詣の意味を調べてみると、「新年に初めて神社や寺に参詣すること。」とあります。本来お正月は、歳神(としがみ)さまを家にお迎えすることが目的です。神棚に来られた歳神さまに一年間の実りと幸せを家にもたらしてくれるようにお祈りをすることです。(神棚がない家は、鏡餅や門松、しめ飾りが依代(よりしろ)になります。)

ではなぜ神社に参るようになったのかというと、神社や寺の神様は、歳神さまとは違う神様なのだそうで、近くの神社やお寺にお詣りし、新年の挨拶をすることを「初詣」と言います。しかし、交通網の発展と共に近くの神社より有名な神社仏閣に参る方が増えてきました。この機会に近所の神社に参ってみるのはいかがでしょうか。

改めてお正月にすることの意味を知ると、知らなかったことがたくさんありました。正月行事の由来を調べると、一つひとつに意味のあることがわかります。今回のアンケートでも、「正月行事の由来をきちんと語り継いでいくことが、次の世代に正月行事を繋ぐためにも必要」という回答をいただきました。

今年の年末年始、みなさんにとって、よい時間になること、そして次の年もみなさまにとってよい年になりますように。

※依代とは・・神がよりつくもののこと。

東近江の初詣スポット

勝利と幸福を授ける神様が奉られる東近江のパワースポット。

太郎坊宮（阿賀神社）

東近江市での初詣スポットといえば、やはりここ「太郎坊宮」。箕作山にあり、勝運の神様を奉っていることで知られています。何か勝負事がある時には、ぜひお願いに行ってみてはいかがでしょうか。

住　東近江市小脇町 2247

駐　あり（普通車 26 台、大型車 3 台）

アクセス

近江鉄道八日市線「太郎坊宮前駅」下車　徒歩 15 分

自動のおみくじ機？
60 年に 1 度の奇祭がある神社。

押立神社

湖東地区の、静かな林の中にたたずむ神社です。神社内には、国宝級のものがたくさんあり、境内には、木製の狛犬が。60 年に 1 度開催される奇祭「ドケ祭り」が有名。次に開催されるのは、2031 年です。

住　東近江市北菩提寺町 365

アクセス

八日市インターから車で 15 分

お正月恒例！東近江を全速力！

元旦マラソン

今年で 56 回目を迎える「元旦マラソン」全国から、多くのランナーが東近江路を駆け抜けます。布引グリーンスタジアムをスタートして、周辺を 10ｋｍ、5ｋｍ、3ｋｍのコースがあります。

「一年の健康は、元旦にあり。」ぜひ、お近くの方は力走するランナーを応援してください。

詳しくは東近江市ＨＰをご覧ください。

10ｋｍコース

スタート：布引グリーンスタジアム → 芝原町 → 下二俣町 → 石塔町 → 桜川東町 → 蛇溝町 → ゴール

5ｋｍコース

スタート：布引グリーンスタジアム → 布引山 → 京セラ工場 → 蛇溝町 → ゴール

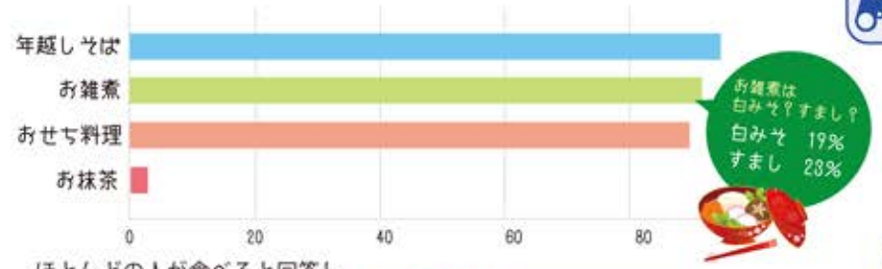
3ｋｍコース

スタート：布引グリーンスタジアム → 蛇溝町周辺 → ゴール

東近江DE調査

年末年始をどう過ごす ～東近江で過ごすお正月～

Q1. 年末年始にたべるもの



ほとんどの人が食べると回答したのが、「年越しそば」。次に多かったのが「お雑煮」です。しかし、年越しそば、お雑煮、おせち料理は、僅差でした。

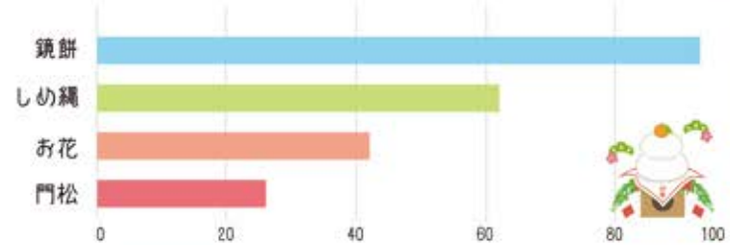
次世代に残したいものとして、「おせち料理」という声が多かったです。

この他には
- 干し柿
- バーベキュー
- カレーライス
- 1/15 日に小豆がゆ
- 「1/1～1/3 日は、お肉を食べない。」との声も。

おせち料理とは

おせちとは、年の始めにその年の豊作を祈って食べる料理や武家の祝い膳、新年を祝う庶民の料理などが混ざり合って出来たものです。さらに正月三が日は主婦を家事から解放するという意味を含め、保存の効く食材が中心のものになったと言われています。お正月に火を使うことをできるだけ避ける、という意味も含まれています。

Q2. 年末年始に飾るもの



鏡餅は、お正月の定番ですね。しめ縄や門松を飾る方が少ないようです。

ある地域のコミュニティセンターでは、紙で作った門松を配られるそうで、それを飾っているという声が聞かれました。

この他には
- 榊（さかき）
- 床の間に「はまや」

門松とは

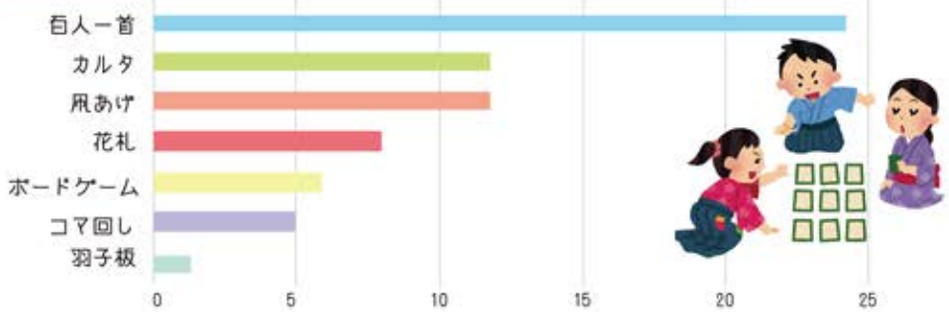
門松は神様の安息所として神様が宿る場所と考えられています。元々は歳神（としがみ）の依代（よりしろ）と言われていて、神様が下界に降りてくる際の目印としても扱われているようです。

※依代とは・・神がよりつくもののこと。

今回、年末年始の過ごし方について、市内に住む 20～70 代の 106 名の方にアンケートに答えていただきました。

答えてくださった年代を見てみると、50～70 代の方が多かったです。

Q3. お正月の遊び



お正月は、家族や親戚が集まることが多いので、みんなで楽しむことができる遊びが多かったのが特徴的でした。

一番多かった回答は、「百人一首」。滋賀県が発祥の地だと言われるだけのことはありますね。

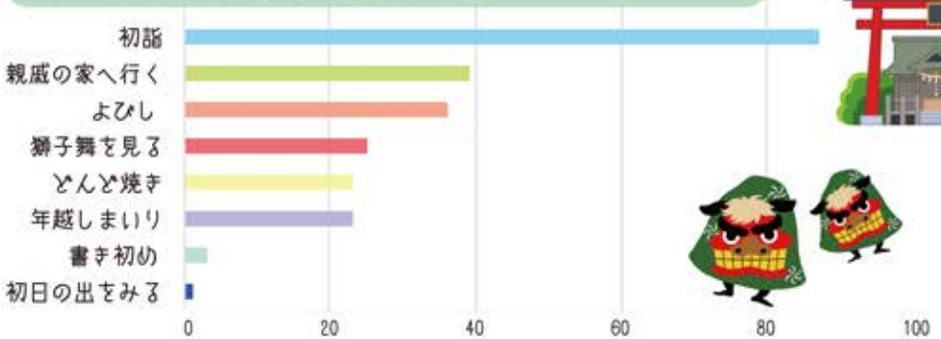
また「凧あげ」は、次世代に残したいという回答が多かったです。

この他には
- トランプ
- 家族でNHK紅白歌合戦を見る。
- カードゲーム
- カロム
- 坊主めくり

ボードゲーム

ボードゲームは、テーブルの上で楽しむことができるゲームです。オセロや人生ゲーム、それから囲碁や将棋もボードゲームの一つです。お正月の定番というと、福笑いやすごろくもあります。ボードゲームの発祥は、エジプトだと言われています。特にドイツでは、「ドイツ年間ボードゲーム大賞」があり、様々なボードゲームが販売されていてとても、盛んです。

Q4. 年末年始ならではの過ごし方は



やはり、お正月には「初詣」は欠かせないですね。100%に近い方が、初詣には行かれるようです。

「普段、会えない人に出会えるのもお正月ならでは。」や「一年に一度は、家族全員で新年の朝を迎えるようにしている。」との声も。多くの人が集まるのも、年末年始の楽しみの一つなのかもしれませんね。

よびしとは

親戚や近所の人たちが集まることを、近江弁の一つで「よびし」と呼ばれます。地域によっては、お正月やお盆の時期に集まることに使われることもあります。

コラボ 協

第 25 号

東近江市では、協働によるまちづくりの指針となる条例及び計画をより実効性のあるものにし、総合的・計画的に推進するためのしくみや制度を検討するために、東近江市市民協働推進委員会を設置しています。

発行：東近江市市民協働推進委員会

東近江市市民協働推進委員会メンバーは、学識経験者や市民代表の１６名で構成されています。それぞれが感じる委員会や東近江市への想いを紹介します。

市民協働推進委員に 聞いてみました！

大橋　正徳さん

Q1　どうして市民協働推進委員になろうと思ったのですか。

もともと、社会とか地域の動きとかいろんな関わりを考えて知恵を出したりつないでいくのが好きなんです。１市６町が合併しているので、いろんな地域の意見を聞きたいなと思ったし、“協働”という、みんなでやっていこうという言葉に惹かれて応募しました。委員会に参加をすると、いろんな人の意見を聞いてアイディアをもらったり、とても勉強になります。それに、たくさんの人と仲良くなれたことも良かったです。市内にある良いモノをつなぐ取組をしていると思うので、やりがいがありますね。

Q2　まちとのつながりを教えてください。

「子ども」が好きで、退職後、能登川地区の青少年育成市民会議を中心に活動をしています。自治会や地元の役をすることで地域の人とのつながりができて、いろんなことに顔を出すようになりました。自分が生まれ育った場所だから大切にしたいし、将来のことを考えて、昔の良さを残しながら変えていくことも大事だと思っています。だから、子どもたちや若い世代の人がまちづくりに関われるような「きっかけづくり」をしています。

若い人と喋っていると新しい発見もあるし、何より自分が元気になれるから楽しいですよ。

Q3　どんなまちになってほしいですか。

市全体が 1 つになれるようなものを作れると良いのになと思っていて、今年の 6 月にあった東近江 SEA TO SUMMIT は鈴鹿から琵琶湖まで地域が 1 つにつながるすごくいい取組だなと思いました。

自分でできること、地域でできること、企業や行政も、それぞれが協力してつながりのあるまちにしたい。

そのためには、日頃から挨拶をしてコミュニケーションをとることや、大人も子どももお互いの意見をよく聞くことが大切だと思います。みんながつながって助け合えるまちになるといいな。

大橋　正徳さん

東近江市の青少年育成市民会議で小学生や中学生、そして家庭と地域をテーマに活動。いつでもパワフル。「地域愛」が伝わってくる人柄。音楽を聴くのが好き。講演会に行って話を聞くのも好き。とにかく“きく”人。

Corabook こらぼコレクション in ひがしおうみ

まちのひとが道の駅を盛り上げる～渓流の里サポーターズ～

「道の駅　奥永源寺渓流の里」が開設されたのは平成27年10月。この時に、道の駅を「地域とのつながりがある場所にしたい。」「地域の魅力を発信して活性化につなげたい。」という想いから、地域住民の方が集まって結成されたのが、渓流の里サポーターズです。サポーターズの活動は、毎週日曜日に開催している「山里市場」の運営やイベントの企画、プランターの花の設置や雪かきなど多岐に渡り、この道の駅には欠かせない存在となっています。

山里市場には、畑で採れた野菜や山菜などが並びます。地元で採れる山菜を出すと、「どうやって食べるのですか。」や「山菜が採れるんですね。」と喜んで買ってくださるお客さんが多いそうです。地元の人にとっては、何でもないものや当たり前と思っていたことが、お客さんとの会話を通して地域の良さに気づき、誇りや喜びにつながっています。野菜の栽培や雑貨作りをしている方の中には、高齢で自分で道の駅まで行けない人もいます。そんな人もサポーターズが架け橋となって商品を山里市場に出し、コミュニケーションをとっています。

もともと政所中学校だった校舎を利用した道の駅。今では40人を超えるサポーターズのほとんどがこの学校の卒業生で、近くに住んでいなくてもメンバー登録をして、イベントのサポートなどで地元へ帰ってくる方もおられるそう。「年齢や性別に関係なく、地域の人同士が顔を合わせる場にもなっていて、ここで地域がつながっている。そして、メンバーみんなが喜んでもらいたいと思って活動をしている。地域の情報発信や避難所、行政の支所としての機能もあるので、気軽に来てもらえるのが嬉しい。」と駅長である仲谷正敏さんは話してくださいました。

休憩所や観光案内所というだけでなく、地域のつながりや地域の拠点としての道の駅。道の駅と地域に住んでいる人がそれぞれの役割をもって一緒に活動しているからこそ、ここにしかない魅力ある場所になっているのですね。

連絡先

■道の駅　奥永源寺渓流の里
住所　東近江町蓼畑町 510 番地
ＴＥＬ　0749-29-0428
営業時間　9：30～17：30（4 月～ 11 月）
　　9：30～16：30（12 月～ 3 月）
休館日　毎週火曜日
　　12 月 29 日～1 月 2 日

山里市場は毎週日曜日に開催しています。

彩 ~color~

歷史を通して次世代に伝えたいこと

竜田を語る会

五個荘竜田町で活動されている「竜田を語る会」さんをご紹介します。

平成21年に竜田町の郷土史「ふるさと竜田」を発行することになり、編集委員会が立ち上がりました。調査研究や編集に3年をかけて出来上がった郷土史は、カラーページや写真、デザインもとても立派なものです。

竜田町郷土史
「ふるさと竜田」

「ふるさと竜田」発行後、編集委員を中心に、追加調査と町民の郷土愛の醸成・資料の保存・郷土史の研究学習などを目的に「竜田を語る会」が誕生しました。

現在、会員はおよそ50人でその半分が竜田町外のメンバーということに驚きました。その秘密は、月に1回開催されている歴史公開講座にあります。「条里制 AND 東山道」「120歳の近江鉄道」「朝鮮人街道の歴史」「山縣有朋VS杉浦重剛」など、歴史好きにはたまらない魅力的な講座が好評で、東近江市からだけでなく、彦根市などからも参加があります。歴史講座のリピーターから会員になられる方が多く、会員の半分が町外の方になっているそうです。

現代は、自分の事を優先した生き方や考え方の人が増えたとおっしゃいます。こうした講座を通して、次の世代に「人と人が助け合って生きていく」ということの大切さを知ってもらいたいと話してくださいました。

竜田神社の三十六歌仙色紙

歴史散策

町外のファンも多い歴史講座

竜田を語る会
Gokasho Tatsutacho

メンバー右から市田さん、高野さん、小杉さん

連絡先
竜田を語る会　会長　高野　勝次
ＴＥＬ：090-2597-5840
ホームページ：
http://tatutawokatarukai.planet.bindcloud.jp/index.html

ちょこっとバスで行く！ちょこっといいところ

湖東東線（ことうひがしせん）

今回は、ちょこっとバス湖東東線で「池庄」と「北花沢」を巡ってきました。地元に伝わる不思議な慣わしや、聖徳太子の伝説の巨木など、見どころがたくさんでした．

ちょこちゃん

スポット1　豊国（とよくに）神社

池庄のバス停降りてすぐにあります。祭神は、地元では「厄神（やくじん）さん」「厄除八幡（やくよけはちまん）さん」と呼ばれ親しまれています。毎年、1月18日～20日の厄除大祭には県内から多くの人が訪れます。境内には馬や鳥の像など様々な寄贈品が設置されていて不思議でした。これは、42歳の「大厄」の年を迎える地元の方が、神社に形に残る寄付をする慣わしが現在でも続いているからだそうです。

アクセス　東近江市池庄町 1518

スポット2　ハナノキ公園

北花沢のバス停から少し歩くと、聖徳太子ゆかりの地「ハナノキ公園」があります。百済寺を建立した聖徳太子が立ち寄り、食事をした箸を地面に突き刺して育った木がこのハナノキという伝説が残っています。国指定の天然記念物にもなっており、看板からも地域の方に大切にされていることがわかります。北に少し歩くと八幡神社があり、もう片方の箸のハナノキがありますので、こちらもぜひお立ち寄り下さい。

アクセス　東近江市北花沢町 398

大きなキッチンには、手作りの味噌や麹。冷蔵庫からは最近採れたばかりのブドウを使ったシロップ。山本さんのお家からは手仕事の味が次々出てきます。その中でも特にこだわっておられるのが味噌づくり。「麦みそ赤みそいろいろあるけれど、米で作った麹みそは一番贅沢なんよ。」と山本さん。昔はお米が貴重だったため、麹みそがいただけるのは豊かな地域の証拠なのだそうです。

山本さんが味噌づくりを始めたのは昭和の終わりごろ。ご自身は酪農をされていましたが、地域の農家の主婦たちの経済的自立に向けて活動を始めたのがきっかけで、現在は味噌づくりの先生としても活動されています。スーパーに行けばなんでも簡単に手に入る時代に、手間暇かけた手作りの味は貴重です。山本さんは『おいしいものやおいしい経験は一生の思い出になる。』と、若い人や子どもたちに手仕事を経験してもらうことが、食の関心の深まりに繋がるとおっしゃいます。

また、山本さんは「農」を伝えていくことも大切だと話されます。「農は、どんな人にも仕事がある。子どもには子どもの、大人には大人の仕事。みんなで関われる。」世代を越えた関わりは暮らしを紡ぐ大切なスパイスです。つながりが薄くなりつつある今だからこそ農や食の大切さを伝えることはますます重要になるように感じます。

冬に仕込みが始まる味噌づくり。年が明けると800キロの味噌を仕込むために休みなく作業されるという山本さん。そんな大仕事のことも笑って話される姿からは、食への思いと深い愛情が伝わってきました。

↑手作りの味噌

information
山本さんのお味噌は、あいとうマーガレットステーションや野菜花で販売されています。

マチコト ～地域を元気にするしごと～ 第27回

「安心して食べてもらいたい」とこだわって作っています。

農事組合法人 滋賀第五営農組合

市辺地区にある滋賀第五営農組合のお漬物工場へ取材に行ってきました。

滋賀第五営農組合は、昭和47年に、農産物の消費をしてもらいたいと5軒の農家が集まって設立されました。当初は、作った野菜を加工して、塩蔵した物を漬物店へ卸していましたが、現在は安心して食べてもらえるものを直接、お漬物にして販売しています。

滋賀県産の野菜がある時期はそれらを使い、できるだけ地元産を利用しています。こだわりは「国内100％の農産物を使っていること」、「加工工程をしっかりとマニュアル化して、常にベストの方法で、ベストの味をつくりだすこと」と言われます。販売の3割は生活協同組合へ、その他は、外食産業やスーパーなどで販売されています。商品は、しば漬け、切り千枚漬け、刻み白菜漬け、刻みすぐきなど20種類に及びます。取材の日に工場内を見学させていただくと、大根を電解水で洗ったり、キムチを漬けておられました。

これから冬野菜になると白菜や千枚漬けが増えるそうです。「保存料や合成着色料もできる限り使用せず、野菜そのものが持っている風味を生かしています。より安全・安心の漬物つくりにこだわっていますので、賞味期限を短くしていますが、やはり味や安心への思いは大切です。」とおっしゃいます。

最近は、あっさりしたお漬物が好まれますが、古漬けといわれるすぐき漬けやしば漬けなどはコンスタントに要望があるそうです。

地元のお米と地元野菜のお漬物を食べる、最高に贅沢な食事ではないでしょうか。

農事組合法人 滋賀第五営農組合
住所：東近江市市辺町2340
TEL：0748-22-6383　FAX:0748-22-6395
ホームページ：
https://www.daigo-tsukemono.com/

地域の情報かわら版

歴史が好きな方はぜひ

中山道のみどころを今一度
武佐宿～愛知川宿

第24回 歴史公開講座を開催します。

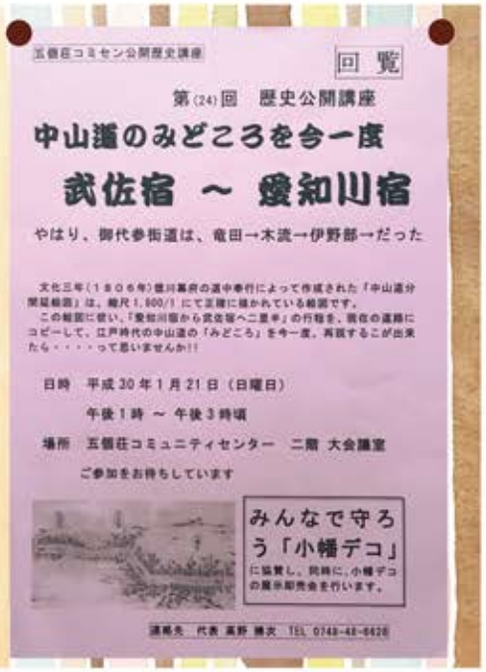
今回の内容は、竜田町を通る中山道です。中山道分間延絵図と現在の道路を見比べながら、講座を進めます。興味ある方は、是非ご来場ください。お待ちしております。

日時：2018年1月21日（日）13：00～15：00

場所：五個荘コミュニティセンター2階　大会議室

連絡先：竜田を語る会（代表　高野勝次）

ＴＥＬ 0748-48-6628


五個荘コミセン公開歴史講座

回覧

第(24)回　歴史公開講座

中山道のみどころを今一度

武佐宿 ～ 愛知川宿

やはり、御代参街道は、竜田→木流→伊野部→だった

文化三年（１８０６年）徳川幕府の道中奉行によって作成された「中山道分間延絵図」は、縮尺1,800/1 にて正確に描かれている絵図です。
この絵図に従い、「愛知川宿から武佐宿へ二里半」の行程を、現在の道路にコピーして、江戸時代の中山道の「みどころ」を今一度、再現することが出来たら・・・・って思いませんか!!

日時　平成 30 年 1 月 21 日（日曜日）
午後 1 時 ～ 午後 3 時頃
場所　五個荘コミュニティセンター　二階 大会議室
ご参加をお待ちしています

みんなで守ろう「小幡デコ」
に協賛し、同時に、小幡デコの展示即売会を行います。

連絡先　代表 高野 勝次　TEL 0748-48-6628

地域の特産品がいっぱい!!

CO-GAMO MARCHE コガモ マルシェ

開催中!!

毎週、日曜日の9：30～13：00まで、CO-GAMO CAFE（コガモカフェ）で開催しています。採れたて野菜や、地元で作られたものなど蒲生の魅力がたくさん詰まったマルシェです。ぜひお立ち寄りください。

都合により中止や開催時間の変更があります。
facebookでご確認ください。

一般社団法人　がもう夢工房 で検索

地域のお知らせ「にじまち」に掲載しませんか？

地域の情報を掲載させていただきます。お気軽にお問い合せください。

募集中

申込み・問合せ：ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
TEL：0748-56-1277　MAIL：info@e-ohminet.com

市民投稿番組 まちのわ

市民投稿番組コーナー「まちのわ」

●「まちのわ」の投稿作品を募集しています！！

東近江スマイルネットで、自分が作った動画を流してみませんか。イベントや趣味の動画など、どんなものでもお待ちしています。

放送は、毎月第１週目の月曜日～日曜日の19：45～20：00※です。

※放送時期は、都合により変更になる場合があります。

●これまでと今後の放送内容

10月

タイトル：蒲生の夏

一般社団法人がもう夢工房

蒲生の夏の風物詩をまとめてみました。夏祭りや石塔フェスティバルなど蒲生の夏を感じられる動画です。

11月

タイトル：東近江市総合防災訓練 ～多言語での情報発信～

川崎　日出夫

8月28日にひばり公園で行われた訓練の様子です。パブリックアクセス推進協議会は、外国籍の人に向けた情報発信をテーマにインドネシア語でのアナウンスなどに取り組みました。

12月

タイトル：蒲生の冬

一般社団法人がもう夢工房

蒲生の冬をまとめました。蒲生の雪景色はとても美しく、雪の中を走る近江鉄道が情緒的です。この季節しか見られることができない映像です。

プロが教える！！

動画が上手に撮影できる２つのポイント

動画を撮影するときの参考にしてください。

ポイント1　カメラの設定をしっかりと行う！

明るさの調整やホワイトバランスの調整を事前に設定しておくと動画の撮影がしやすくなります。

ポイント2　なるべく三脚を使用して固定する！

最近のカメラの多くは、手ブレ機能がついていますが、長時間撮影する時は、三脚を使うとブレることなく撮影できます。

動画の制作に関することや、投稿の仕方などお気軽にお問い合せください。

問合せ：東近江市パブリックアクセス推進協議会
事務局：ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
ＴＥＬ　0748-56-1277　ＭＡＩＬ：info@e-ohminet.com

ぜひ遊びにきてください！！

わくわく東近江
こらぼでつながる市民の村

わくわくこらぼ村

参加無料

2017年
12 9日
（土）10時～15時30分

場所
ショッピングプラザ
アピア4階

イベント
笑顔写真館
クイズラリー
and more

販売

体験

ステージ

展示

ふうせん
もらえるよ！

参加団体 51 団体！！

参加団体が考えた夢の企画
「こらぼ企画」の発表もあります！

東近江市で地域の課題に取り組む団体が一同に集まり、それぞれの活動をさまざまな形で紹介します。
パネル展示やお菓子やお弁当などの販売、そして子どもも大人も楽しめる体験ができたり、ステージでの発表もあります。
ここでしか体験できないこともたくさん！
ぜひ、遊びに来てくださいね！

問い合わせ
ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
ＴＥＬ：0748-56-1277
MAIL：info@e-ohminet.com

まちのわコンテスト市民投票

市民投稿番組「まちのわ」の市民投票を実施します。今回は、市民投稿番組「まちのわ」に2017年4月～12月に投稿していただいた作品をみなさんに見て投票頂き、2018年3月に「まちのわ表彰式」で発表します。市民の皆さんが作られた楽しい映像がご覧いただけます。ぜひ、ご参加お願いします。

2018年2月16日（金）～3月2日（金）

場所：八日市文化芸術会館

同時開催！わくわくこらぼ村サテライト

12月9日（土）に開催する「わくわくこらぼ村」。少しだけ雰囲気を感じてもらおうと、振り返り写真展を行います。こらぼ村企画「笑顔写真館」の展示も行います

自然と暮らしをつなげ、
私が心の豊かさを感じるまちへ

e～らいふ

地域で何かしたい人のつどう場
ひよこサロン

これから、市民活動をしてみたい！ボランティアをしてみたい方向けのサロンです。２ヵ月に１度開催し、東近江市で活動している団体の話や、現在の悩み、抱えている課題などを話しながら、みんなで成長しようと思います。

日時：2018年2月22日(木)
10：00～11：30

場所：まちづくりネット東近江事務所
（東近江市八日市緑町4-1）

参加費：無料

申込は、以下までお願いします。
ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
ＴＥＬ：0748-56-1277
ＭＡＩＬ：info@e-ohminet.com

暮らしの中にある環境の取組を紹介する冊子

e～らいふ ができます！！

地域での活動を紹介する小冊子ができます！「たべる」「えらぶ」「ふれる」「さんか」というカテゴリに分かれて、それぞれの活動の特徴を紹介します。

みなさんの身近な活動も掲載されているかも。ぜひ、見かけたら手にとってみてください。

今号の表紙

今回の表紙は、永源寺の杉で作られた積み木「KUMINO」で作った神社と、しめ縄と来年の干支であるワラで作った犬です。しめ縄と犬は、湖東地区に住む野村源四郎さんの作品です。

「にじまち」設置店舗・事業所

・ＡＢＣ食堂　・あいとうエコプラザ菜の花館　・アビスミナミイ　・石窯パン café つむぎ　・eN
・各地区コミュニティセンター　・各地区図書館　・Cafe Crepier Cono　・くつろぎ茶「幸」
・湖東信用金庫本店　・滋賀銀行八日市東支店　・重森スポーツ　・セリーヌ　・外川善種苗店
・二丁目植堂　・東近江市役所　・ファームキッチン野菜花　・Ｂｕｎ-Ｂｕｎ　・ＢＥＮＴＯ.
・マエダクリーニング金屋店　・道の駅あいとうマーガレットステーション　・道の駅奥永源寺渓流の里
・Mitte　・ＭＯＴＯＳＴＡＮＤ　・八日市まちかど情報館　・ル・トン・セラン　・カフェ・ド・ココ
・銘茶ますきちアピア店

「にじまち」設置にご協力いただける店舗さま、事業所さま募集中！

「にじまち」は、東近江市の身近な情報をお届けするまちづくりネット東近江が発行する広報誌です。
現在、「にじまち」の設置にご協力いただける店舗さま、事業所さまを随時募集しています。
詳しくは、以下の問合せ先までご連絡ください。

問合せ

広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せください。

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江
〒527-0023　滋賀県東近江市八日市緑町 4-1
TEL：0748-56-1277　ＩＰ：050-8036-0784
E-mail:info@e-ohminet.com
ＨＰ：http://e-ohminet.com
※まちづくりネット東近江は、東近江市の委託を受けて事業を展開しています。

情報発信をしています！

発行月：6 月、9 月、12 月、3 月
発行数：1500 部

会員募集中！！

まちづくりネット東近江の会員を募集しています。当団体が主催します、講座の案内や日々の活動を綴った「つれづれ日記」をお送りします。（年会費　個人正会員：2、000 円、個人賛助会員：5、000 円、団体正会員：2、000 円、団体賛助会員：10,000 円）